

TPA プログラムに役立つヒント

IQVIA データを特定し認定ユーザーに通知する

IQVIA は、IQVIA 第三者アクセス限定ライセンス契約の制限および義務をベンダー様が遵守する上で、役立つと判断したアイデアを共有します。ベンダー様は、IQVIA データを不正な使用、アクセス、開示、流用または誤用から保護するために必要な全ての合理的な措置を講じる必要があります。ベンダー様のシステムに搭載される IQVIA データを特定し、IQVIA データのユーザーに通知することは、コンプライアンスを確実にするための 1 つの手段です。そのためのヒントを以下に示します。

IQVIA データの特定

- IQVIA データとは、第三者アクセス限定ライセンス契約のスケジュール A において定義されたオリジナルの IQVIA データを含むものとする。
- また、オリジナルの IQVIA データから直接的または間接的に派生した情報も含むものとする。

認定ユーザーに対する IQVIA データとは何であるかの通知

- アクセスする情報が IQVIA データであることを、認定ユーザーと受領者に通知し、TPA 契約の遵守を可能にする。
- 複数の方法を組み合わせて、ベンダー様のユーザーに効果的に通知する。 例えば、
 - IQVIA データにアクセスする従業員に指示を与える
 - IQVIA データをホストしているベンダー様のセキュアなシステムに通知メッセージを画面表示する
 - 対面およびオンラインによるトレーニング
 - データのタグ付けまたはマーク付け

TPA 契約に基づくユーザーの義務の通知

- TPA 契約に基づく IQVIA データの開示および使用に関する様々な義務と制限について、認定ユーザーと受領者に通知する。

第三者アクセス限定ライセンス契約をご確認ください

ご不明な点がある場合は、IQVIA 第三者アクセス限定ライセンス契約をご確認下さい。
本ヒントは、有用なガイドとなることのみを意図したものであり、本契約に基づくベンダー様の法的義務を変更するものではありません。